

成田空港 外来カメ144匹捕獲

成田空港で、亀の滑走路侵入を防ぐため4月から仕掛けられたわななどで、緊急対策外来種のミシシッピアカミミガメ133匹、外来種のクサガメ11匹の計144匹が9日までに捕獲された。成田国際空港会社（NAA）は同日午前、このうち4匹の捕獲作業を報道陣に公開した。

NAAは環境省の「アカミミガメ防除の手引き」を踏まえ、外来種は冷凍庫に2日間入れて殺処分しているという。

滑走路侵入の防止 わな4月から設置

同空港のA滑走路には昨年9月、体長約30センチのアカミミガメ1匹が侵入し、10分ほど滑走路が閉鎖された。NAAは、航空機のエンジンに吸い込まれるなどした場合、事故につながる恐れがあるとして、専門家と対策を検討。

空港内の調整池やため池、周辺の放水路などに数百匹がいる可能性もあるとみて、4月20日以降、計144個のわなを仕掛けたり、巡回中などに手で捕まえたりしてきた。A滑走路近くの誘導路には4、5月にも各1匹のアカミミガメが侵入し、捕獲された。

この日、アカミミガメを捕獲した認定NPO法人「生態工房」の片岡友美理事長は「順調に捕獲が進んでいる。ただ空港外から入ってくる亀もいるので、捕獲は数年間続ける必要がある」と話した。

（上沢博之）



成田空港のA滑走路近くへの調整池で、わなで捕獲されたミシシッピアカミミガメ119匹、成田空港